

陳情4号(スーパー堤防は中止し,内水対策を)は不採択に(建設委員会) 篠崎地域の2陳情(スーパー堤防計画の撤回・墓地移転の中止)は継続

「建設委員会傍聴記」

問題の基本的論戦が 不十分ではないか!

3月11日(金) 午前10時から建設委員会が開かれ、私たちの提出した陳情4号
Ⅱ莫大な税金を使うスーパー堤防は即刻中止し、内水氾濫対策を優先すべきⅡの審査が行われ、賛成少数により不採択となりました。また篠崎地域からの8号、9号は議会閉会中の継続審査となりました。この日は東日本大震災5周年に当たるため、審査に先立ち**渡部正明委員長(自民)**はじめ、全員で哀悼の黙祷を捧げました。以下、概要を伝えます。

渡部委員長 審査に入りますが、まず4号。次いで8、9号を一括して行います。各会派の意見を願います。

栗原佑卓委員(自民) 本区は全体の7割が低地であり、各河川の最下流部に位置している。災害に強い町にしたい。不採択。

堀江創一委員(公明) 昨年、仙台で開かれた国際会議で「防災の費用は復興のそれよりはるかに安価」と指摘された。区民の生命及び財産を守るのが第一。よって不採択。

須田哲二委員(共産) 賛成。採択を。陳情は外水対策がダメ、とは言っていない。スーパー堤防は急なゲリラ豪雨、集中豪雨には間に合わない。もっと有効な方法をとるべきだ。総延長800kmが120kmとなった根拠も不明、完成に要する時間も不明ではないか。

本西光枝委員(生活者ネット) 採択。限られた予算でどう災害を防ぐかが大切。実現可能な策こそ必要だ。

渡部委員長 採択2。少数のため4号は不採択。次いで8、9号(注・篠崎地域からはスーパー堤防、区画整理に関する2本の陳情が出ています)。

本西委員 上篠崎の墓地移転の原因は、都市計画上で緑地とされているからだが、いつ決まったのか。

土木部 昭和32年に当時の建設省が決定している。

本西委員 妙勝寺は2度も移転している。説明では緑地となっている所へ移転する。何故なのか。

土木部 理由は不明だ。

本西委員 何故、浅間神社は動かさず、450基もの墓地を動かすのか。スーパー堤防がなければこの問題は起きなかったはず。盛土など目に見える資料はあるのか。

土木部 次回に用意する。
須田委員 土地区画整理事業では篠崎公園は高台になっているが。

土木部 スーパー堤防が高台化されているからだ。AP6mの高台化だ。避難道をどのエリアにするか、東京都では個別の計画はイメージ出来ない。

須田委員 どんな高台化かイメージはあるのか。30Hを越える高台化とする根拠は。

土木部 高台化は都が行う事業だ。

須田委員 計画では都が高台化、とある。区が盛土する根拠はどこにもない。AP6は今の堤防よりも低い。3億円も使って盛土すると言うが、土木部の考えは一致しているのか。

土木部 2・4mを6mにしようという考えで、事業は重複している。都は公園の高台化、国はスーパー堤防。道路は生活のしやすさを考え街づくり部分まで延長して行きたい。

(裏面に続く)